

# 平成 22 年度 大田区区民協働推進会議（第四回）

## 次 第

平成 22 年 11 月 12 日（金）  
18 時 30 分～20 時 30 分  
本庁舎 教育委員会室

- 1 あいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 事務局からのお知らせ
  - (1) 本日の議題について
  - (2) 資料確認
- 4 地域力応援基金スタート・ステップ・ジャンプ助成の継続審査について
  - (1) 団体訪問及び経過確認（報告）
  - (2) 継続審査員の選定
    - ステップアップ・ジャンプアップ助成・・・審査対象 10 団体（予定）  
書類審査 2 名 審査期間（12 月 8 日（水）～12 月 17 日（金））  
面接審査 2 名 審査日（1 月 21 日（金））
    - スタートアップ助成・・・審査対象 8 団体（予定）  
途中報告会の審査員 3 名  
平成 23 年 1 月 29 日 9 時～12 時（NPO・区民活動フォーラムにて）  
継続書類審査 2 名 審査期間  
平成 23 年 2 月 7 日（月）～14 日（月）
- 5 地域力応援基金助成事業・ステップアップ・ジャンプアップ助成の審査
  - (1) 審査についての報告
    - ①書類審査（8 月 17 日（火）～9 月 7 日（火））
    - ②公開プレゼンテーション（10 月 23 日（土））
  - (2) 審議
- 6 第五回推進会議（テーマについての審議）

開催日 12 月 2 日（木）本庁舎 801 会議室  
開催時間 18：30～20：30
- 7 その他 推進委員の公募について

区民協働推進会議（第四回） 会議録

—ステップアップ・ジャンプアップ助成審査会—

**事務局** 区民協働推進会議を始めます。地域力応援基金助成事業ステップアップ・ジャンプアップ助成の担当者菊地を紹介します。

**担当** よろしくをお願いします。

**担当課長** お忙しい中、ありがとうございます。審査のご協力ありがとうございました。本日は地域力応援基金助成事業のステップアップ・ジャンプアップ助成の審査となります。

**事務局** 会長あいさつをお願いします。

**K委員** こんにちは 本日の審議よろしくお願いします。

**事務局** それでは早速ですが、事務局からの議題と資料の説明にうつります。部長からお願いします。

**担当課長** 継続審査についてとステップアップ・ジャンプアップ助成の審査についてお願いします。

**事務局** 資料の確認をお願いします。

机上配布分とすでに郵送で送らせていただいている資料がありますが机上の分と差し替え願います。

— 資料確認 —

それでは、審議をお願いします。

**K委員** 経過観察について事務局から報告をお願いします。

**事務局** 経過観察についてご報告です。スタートアップ助成から

ワクワク山王クラブ 9月18日（土）I委員

昔ながらのトマトの勉強会 9月26日（日）P委員

スマイルパソコン 9月28日（火）J委員

ワップフィルム 10月1日（金）M委員

ワイワイチルドレン 10月15日（金）Q委員

六郷用水の会 10月16日（土）O委員 に行っていました。団体訪問はあと2つ残っています。あか・しろ・きいろ発達障害者（児）支援団体 11月13日（土） P委員、「六郷どんど焼き」（復活）1月9日（日）はL委員に行ってください。よろしくお願いします。

続いて、ステップアップ・ジャンプアップ助成ですが、 地域総合スポーツ俱

楽部・ピボットフットスポーツ教室運営事業 9月28日(火) J委員  
ワカメを使った、おいしい環境保全 9月30日(木) N委員  
大田区環境探検隊「みんなの田んぼ」活動とせせらぎ公園の生き物調査 10月3日(日) 田園調布せせらぎ公園 M委員、若者への就労支援事業 10月7日(木) K委員ふるさとづくり子どもワークショップ(大森町編) 11月6日(土) H委員にいていただきました。ご協力ありがとうございました。

続いて スタートアップ助成のワップフィルムについてご報告があります。代表者の変更となりました。また、区民から情報が寄せられています。撮影の際、道路使用許可は取っているのかや、スタッフに応募し、受かったが何の連絡もない等のクレームがありました。これらに関しては、団体にお知らせして対応をしてほしいと伝えてあります。

**K委員** 団体訪問にご協力いただいた審査員の皆様、ありがとうございました。

続きまして、継続審査の審査員の選定に入ります。継続審査の内容や審査員の数は次第4番の(2)にあるとおりですのでご覧下さい。確認します。

ステップアップ・ジャンプアップ助成の継続審査は、ステップアップ助成が9団体、ジャンプアップ助成が1団体の予定です。もしかすると、継続を希望しない団体もあるかもしれませんが、10団体が最大の数なのでその数で考えています。審査内容は書類審査と面接審査です。

書類審査員は2名で、審査期間は12月8日(水)～12月17日(金)までです。面接審査員は2名で、面接日は1月21日(金)です。ほぼ1日かかると思われません。

スタートアップ助成については、継続団体予定数は8団体です。審査内容は公開での報告会による審査と書類審査です。

途中報告会での審査員が3名です。

報告会は平成23年1月29日の9時～12時、NPO・区民活動フォーラムにて公開で行われます。

書類審査については審査員が2名、審査期間は平成23年2月7日(月)～14日(月)までです。

審査員の数については事務局の提案どおりでよろしいでしょうか？

では、それぞれ審査をひきうけていただく審査員の方を決めていきたいと思いません。

ステップアップ・ジャンプアップ助成の書類審査は2名、審査期間(12月8日(水)～12月17日(金))です。

審査員・・・（ K ）（ H ）

面接審査 2名 審査日（1月21日（金））

審査員・・・（ P ）（ Q ）

スタートアップ助成の途中報告会の審査員 3名 平成23年1月29日 9時  
～12時

審査員・・・（ J ）（ O ）（ K ）

継続書類審査 2名 審査期間 平成23年2月7日（月）～14日（月）

審査員・・・（ I ）（ J ）

に決まりました。みなさんよろしく申し上げます。

#### ▽ ステップアップ助成審査

**K委員** それでは、平成22年度大田区地域力応援基金助成事業、ステップアップ・ジャンプアップ助成の審査に入ります。

以下、審査会につき非公開

## 平成22年度 大田区区民協働推進会議（第五回）

### 次 第

平成22年12月2日（木）  
18時30分～20時30分  
本庁舎 801会議室

- 1 あいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 地域力応援基金ステップアップ・ジャンプアップ助成実施団体の決定について  
（報告）
- 4 ステップアップ・ジャンプアップ助成継続審査の配点について
- 5 推進会議テーマ「連携・協働の仕組みづくり」の審議
- 6 第六回、七回の推進会議について  
第六回推進会議（2月上旬開催予定）  
（ステップアップ・ジャンプアップ助成継続審査とテーマについての審議を予定）  
  
第七回推進会議（2月下旬開催予定）  
（スタートアップ助成継続審査とテーマについてのまとめを予定）  
開催日の調整  
開催時間 18：30～20：30
- 7 その他

---

出席委員：9名 区民協働担当課長 区民協働担当2名

区民協働推進会議（第五回） 会議録

**事務局** 区民協働推進会議を始めます。今日は、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。まず担当課長からあいさつさせていただきます。

**担当課長** 皆様、お忙しい中、ありがとうございます。前回の会議で地域力応援基金助成事業のステップアップ・ジャンプアップ助成のご審議いただきました。その後事務局で減額の案をつくり皆様のご承認を得ました。会長から区長に推薦していただきました。先日区長決定がございました。先週の金曜日に申請団体へは通知をいたしました。11月30日区議会の産業委員会に報告しました。12月21日号の大田区報で公表します。ご審議いただきありがとうございます。また、本日はテーマ「連携・協働の仕組みづくり」についてのご審議よろしく申し上げます。

**事務局** 会長からあいさつをお願いします。

**K委員** こんばんは 今朝、駅前滞留者訓練をしました。人が大勢集まりました。ごくろうさまでした。連携・協働は大切です。いい形で推進会議を残していきたいと思います。本日の審議よろしく申し上げます。

**事務局** それでは、早速ですが、資料の確認と報告及び、議題の提案をさせていただきます。

—資料の確認—

次に、担当課長より報告及び議案提案をさせていただきます。

**担当課長** 資料の説明をさせていただきます。

—資料の説明—

資料1は地域力応援基金助成事業ステップアップ・ジャンプアップ助成実施団体の決定です。審議の結果です。裏面5はフォローアップについてです。採択団体には説明会を開きます。不採択団体には、希望があれば個別にご説明します。フォローに力をいれていきたいと思っています。役所の内部にも団体の紹介をしていきます。

**K委員** それでは、主な議題は、テーマについての審議ですが、先ほど事務局から提案のあった議題を審議していきたいと思っています。

まずステップアップ・ジャンプアップ助成継続審査の配点方法ということですが、事務局から詳しい説明をお願いします。

— 一部、審査にかかわる審議につき非公開 —

**K委員** いいですね。では、そのようお願いします。

また、ステップアップ・ジャンプアップ助成の継続審査の件ですが、前回の会議で審査員の方が決まっています。書類審査がH委員と私Kで担当します。審査期間が12月8日（水）～12月17日（金）です。

面接審査は1月21日に行われますが、審査員はP委員とQ委員です。よろしくをお願いします。

また、スタートアップ助成の報告会は1月29日に行われますが、J委員、O委員、Kで担当します。以上よろしくをお願いします。

次に、主題であるテーマに沿っての審議を進めていきたいと思います。審議は今回を含めて2回で行いまして、まとめを最後の第7回でしたいと思います。それでは、事務局に皆さんの意見をまとめた資料を作っていたいただきましたので、それをたたき台にしたいと思いますがよろしいでしょうか。

**担当課長** 資料の3をごらんください。連携・協働の仕組みづくりについての審議ですが、4月問題点のアンケートをとりました。9月のアンケートと審議内容をまとめたものです。資料の説明は以上です。これを材料にしていたいただき議論を深め、また委員さんの体験に基づいた意見をいただき提言にまとめたいと思います。

**K委員** それでは、皆さんいかがでしょうか。最終的には「連携・協働のしくみづくり」として当会議として区長へ提言していくことになりますので、それを踏まえた上で項目を含めてご意見をいただければと思います。1からやりますか。問題点1の住民と地域のつながりが薄いについてやります。まず、委員の引き受け手がなくなっていますね。

**M委員** 無関心になってきていますね

**Q委員** 質問があります。区の情報サイトが構築されたとき、特別出張所で見られませんか？また、登録等の手助けもしてもらえるなどの構想はありませんか。

**担当課長** 閲覧用ですね。こらぼ大森、ピオ、文化の森では見られます。指定管理者の所です。

**事務局** 公費でという点と情シスのしぼりがあります。ペーパー資料を特別出張所に置くつもりです。

**K委員** マンションの住民と、もともとの住民がなかなかうまくいかないのはあたりまえですが、地域に大きなマンションがどんどん建っていく。防災などの件で連絡がとれないのは問題となります。管理組合に、町会加入を規約で決めてもらっていますが、会費が入ってくるだけで役員も形だけです。月1回の定例会には出てくるが、何も発言しない。マンションの名簿は提

供しないので敬老会なども困っています。まず防災が一番困ると思います。どうしたらよいでしょうか？

**P委員** 管理組合に話しているのはすごいと思いました。マンション住民の意識改革が必要だと思います。災害になれば見捨てるわけにはいかないです。

**K委員** 大事なことができなくなってきました。会費を返してしまおうかなんて考えてしまう。

**M委員** 地震のときなどは困りますね。

**K委員** 町会の力では限度があります。国、都などの行政で義務付けしてもらえないですか。

**P委員** 困難ですよ。個人情報などで…

**M委員** 町会の防災訓練に300人集まりました。少しずつは変わっていると思います。

**担当課長** 大きな問題ですね。義務付けはできないが、加入の呼びかけは大事ですね。

**P委員** 防災などから地道にやっていく。継続的なPRをしていく。

**O委員** 何十年もやってきているが効果がでない。区が指導してもらいたいと思います。

**P委員** 大田区は条例をつくるなど…

**M委員** 自助が大切です。

**Q委員** 町会の発想はわかります。ただ区が決めるから人が動くとは限らない。困っていることが解決できるなどの発信が必要だと思います。私は大田区は地域が元気だと思っています。

**O委員** 区で決まりを作ってほしいです。町会の役員を決めるときは人がでてこない。一人で何役もやっています。65以上にならないとそういう気になれないようです。働いている人は大変で、若い人は出てこない。

**Q委員** よくわかります。ただ助成団体は自分から探して活動している。その熱意と地域の熱意をどう結び付けていくかが大切だと思います。エネルギーが出せるところ、ないところを、どう結びつけるか、何を共有できるか探していく。町会のネットワークと熱意のあるところをどうやって結びつけるかを考えないと…

**O委員** 問題点がいっぱいある。町会も伝統ばかりあって、古い人が仕切っていたりする。だんだん入れ替わってきているが、Qさんの言っていることに町会はついていくかどうかと思います。また、やってきたこともあるが、新住民も入ってきて、町会組織は崩壊していくと思う。町会のかかえている問題は深刻です。地域の協力に対しては区の指導が大事だと思います。

**K委員** みな、精一杯やっている。区に努力をお願いしたい。大型マンションなど



に義務付けのようなものをつくってほしい。マンションの中に能力がある人がいるのはわかっています。ただボランティア活動をする人が少ない。その必要性を訴えるべき。管理組合に地域の有り方を話し、管理組合から世帯へ呼びかけてほしい。説明会は開くが、建て主によく理解してほしい。

**P委員** 建築申請時に勧誘のチラシを渡すなど

**K委員** 総会に出ないときは資料を手渡ししています。地域も努力していく。お祭りや盆踊りなどマンションから子どもが参加してくる。地域も踏み込んでやっていくことが大切だと思っています。

問題点2、3について 一活動団体の情報や広報がとぼしい コミュニケーション、ネットワークのこと

**O委員** ちらし紙の情報をボードにして特別出張所で発信してはどうですか。

**K委員** 今日の滞留者の件は知っていましたか。

**O委員** 知りませんでした。町会の中でも欠けているところがある。情報が流れていったら参加者にとって良いと思う。

**Q委員** 基本構想でも特別出張所を重視していく方針じゃないですか。そこにいくと情報が手に入るなどたまり場のような感じ。こらぼ大森やmics おおたのような区民活動団体のたまり場が少しずつできているような感じで、町会や地域のお母さんが立ち寄るなど情報が手に入るようになればモデルの特別出張所を作る。蒲田東の中で地域の資源はどれだけあるか、特別出張所を単位としてつくるのは価値があるかなと思っています。

**K委員** 地域力推進会議がよい取り組みだと思います。町会長によっては流れが良くなっている。委員会のメンバーについて検討したが12団体入っています。問題点を提起し地域力を作っていく。良いしくみができていると思うがNPOは入っていない。

**J委員** そこでも、連携の話しをしていますか。

**K委員** しています。特別出張所でまとめて上へ上げています。

専門性の高い人を巻き込みたいと思っていますが、難しいです。コーディネーター役を行政がしてほしいと思っています。こういう事業をやっているNPOの紹介などといったしくみができないか。区に一肌脱いでほしいと思っています。

**O委員** 六郷には医療関係のNPOなどはあるが、町会と一体になれるようなNPOがない。NPOの人は若いから力強いと思います。

**P委員** 福祉系は高齢だ。

**O委員** 町会はやることを選べない。NPOは得意を選べてできる。町会の組織と一

体になれるNPOがあれば教えてもらいたいと思います。

**担当課長** NPO 区民活動フォーラムで団体の紹介をしますので、参考してほしい。また、いろんな機会でご紹介させていただきます。よろしくお願いします。

**K委員** モデル特別出張所を作るなどはどうですか。

**担当課長** Q委員などは連携しているようですが。

**Q委員** 12月10日に連携します。介護保険のことで以前から動いています。蒲田東特別出張所で協働推進講師派遣事業を利用して一緒にやることになりました。町会長とも顔見知りだったので… やっぱり顔を合わせる機会を作っていくことが大事だと思います。他の場面でも協力できるので地道な作業ですね。

**K委員** きっかけは特別出張所が仲立ちをしたということですね。

**担当課長** 相当、Q委員さんがエネルギーに動いてくださっています。

**P委員** NPO 交流会で特別出張所への訪問を計画しています。

**H委員** 10日の件は介護保険のことですか。

**Q委員** 安心の一と、介護保険、介護予防などをやります。

**H委員** 各町会にも参加するようにと連絡がきました。みなさん、楽しみにしています。

**Q委員** これからは単町会がやってみたいことにご協力できたら良いと思っています。どこでつなげたらよいか、特別出張所でつなげてもらう。

**H委員** 仕事が多くなってきた。高齢化で動きは鈍くなっている。逆風である。ジョイントするには特別出張所は良い機関だと思います。しかし区の考えがわからないが、特別出張所の人員が減っている。限界にきていて、戦力が少なくなっていると思います。副所長にも来てほしいが来られないという事態になっています。区で見直してもらいたいと思っています。所長だけがでてくればよいというのではない。コミュニケーションをとりたいと思っています。役割があるとは思いますが、人員がいなければできません。必要なことは沢山あって、種を実らせるルート作りが必要だと思います。ただ町会にお願いだけされても困ります。町会はオールマイティ。商店、自由業が多い時はよかったが、商店が少なくなってきて、勤め人にもできることは手伝ってもらいたいと思っています。区は組織的なものと考えてほしいと思います。町会側も考えていきます。

**P委員** 本格的に連携していかなければ立ち行かなくなっています。

**K委員** 連携していかなければたちいなくなっている。昔は商店主などお金に余裕がある人が役になっていた。世の中は変わってきているのに、町会も変わっていかなければならない。依然として変わっていない部分がいっぱいある。特別出張所の起用といった意見がでていますが、書類作業などはや

らせられないと思っています。もっと大事な役目があります。地域も自立していかなければならない。なんでも役所に頼めばという考えはやめた方が良い。ただ、区が担うところは連携・協働なのだからしっかりうたっていきたい。地域が自立する分、連携をするにはどうしたらいいかということが課題になります。

**P委員** 区には相談には乗ってもらう。

—区の施策、職員における問題点について

**K委員** これで2は終わりますが、付け足してってください。次に進めます。最近感じるのは、特別出張所に専門性の高い職員がいなくなっていると思います。戸籍に関して昔は詳しい職員がいました。今は本庁に問い合わせている。奥行きが浅く、窓口が広い体制となっている。人数も減っている。

**P委員** 限られた職員数で、どこに重きを置くかですね。

**担当課長** 戸籍など機械化が進んでいます。本庁舎への来庁者が多い。ただ特別出張所は地域の取り組みを担っていく役割があります。特別出張所の求められる機能も変わってきていますが、まだ対応がおいっていない状態だと思います。

**K委員** 職員体制ですが、所長も2年いればよい。学校も校長は引継ぎが無く何も聞いていないことがある。人が変わると違ってしまう。

**Q委員** うちの団体も学校避難所連絡会に入れてほしいと言ったことがあります。

**M委員** 町会長に言えばよいと思います。

**K委員** 人数が決まっています校長が枠を決めてかかっていますね。やりやすいようにやっていけばよいと思います。他に全体を通じて何かありますか。

**O委員** 区への意見に、町会、NPOなどの接点を設ける機関を作ってほしいといれてほしい。

**担当課長** 機関というのは、組織ですか。

**O委員** 普段は町会とNPOの接点が無いので。

**担当課長** 提言の中で盛り込んでいくのは、出発点だと思います。

**K委員** 取り留めの無い話をまとめていただければと思います。

最後に、第6回推進会議と第7回推進会議の日程調整についてですが、まず、第6回は2月の7日（月）から10日（木）にかけて開催したいと思っています。審議内容はステップアップ・ジャンプアップ助成の継続審査と連携・協働の仕組みづくりについての審議です。皆様のご都合のいい日を上げていただければと思います。ご予約はいかがですか？ 時間は、18：30～20：30です。

—調整—

では、次回は 2月 4日（金）に開催します。

次に第7回推進会議の日程を決めます。審議内容はスタートアップ助成継続審査と連携・協働の仕組みづくりについてのまとめです。

委員の任期が今年度一杯となりますので、このメンバーでの会議は最後となります。2月の21日（月）から28日（月）にかけて開催したいと思いますが、皆さんのご都合はいかがでしょうか。ご予定はいかがでしょうか？ では、7回目は、2月21日（月）に開催します。

**事務局**

皆様、本日はありがとうございました。